

カナダの金融市場動向 Weekly Report

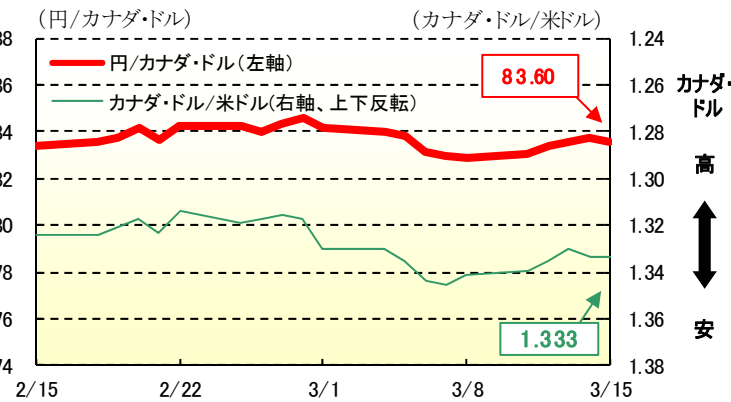
【2019年3月9日～2019年3月15日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドルは、対円および対米ドルで上昇しました。また、カナダ5年国債利回りは低下しました。

米国の小売売上が良好な結果となったこと、株式市場や原油価格が堅調だったことなどから、カナダ・ドル円は上昇基調で推移しました。また、英国がEU（欧州連合）離脱をひとまず延期するとの期待の高まりは、市場の投資家心理の改善につながりました。一方で債券市場に関しては、週末に発表されたニューヨーク連銀製造業景気指数が市場予想を下回るなど、米国の景況感悪化が懸念されたことなどを背景に、米国金利の低下に連れてカナダでも金利低下が進行しました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2019年2月15日～2019年3月15日)



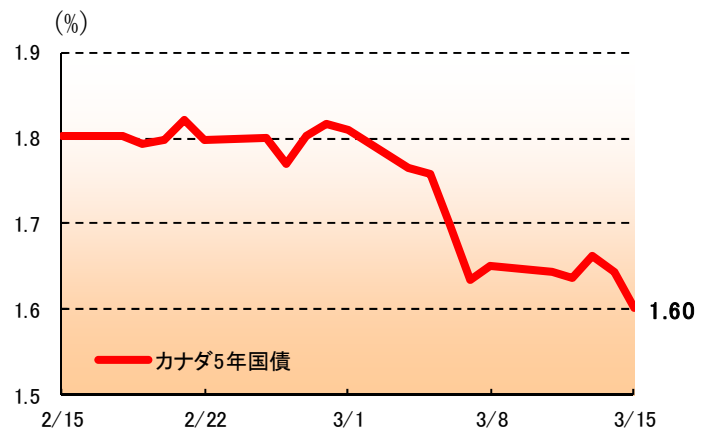
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週、カナダでは小売売上げやCPI（消費者物価指数）の発表が予定されています。小売売上げに関しては直近まで前月比マイナスとなっているものの、今回は前月比プラスに転じることが見込まれています。

米国ではFOMC（米国連邦公開市場委員会）が開催される予定です。政策金利は据え置かれるとともに、利上げに慎重な姿勢が維持されるとみられています。また、今回は政策金利見通しをはじめとしたメンバーの経済予測が発表される予定です。現在市場では将来の追加利上げが織り込まれておらず、むしろ利下げが予想されている状態です。市場の織り込み通り利下げを見込むメンバーが増えるのか、それとも追加利上げを予想する声が増えるのか、注目が集まります。

【カナダ 金利推移】 (2019年2月15日～2019年3月15日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>